

令和元年度 第2回半田市地域公共交通会議 議事録

開催日時	令和2年1月24日(金)	10時00分～12時00分
開催場所	半田市役所 4階 会議室	
会議次第	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ(会長)</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1) 地区路線バス実績集計表及び市内路線バス乗降調査結果について</p> <p>(2) 地域間幹線事業評価票について</p> <p>4. 協議事項</p> <p>(1) 地区路線バス 亀崎・有協線の改善(案)について</p> <p>①路線及びバス停留所</p> <p>②運行回数、運行時刻</p> <p>③運賃</p> <p>(2) 地域公共交通確保維持改善に関する事業評価(案)について</p> <p>5. その他及び情報交換</p>	
出席委員 【欠席委員】	<p>(会長)</p> <p>半田市 副市長</p> <p>(委員)</p> <p>知多乗合株式会社常務取締役バス事業本部長(代理)</p> <p>安全タクシー株式会社代表取締役</p> <p>愛知県タクシー協会知多支部長(代理)</p> <p>公益社団法人愛知県バス協会専務理事</p> <p>国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官</p> <p>名鉄知多タクシー労働組合執行委員長</p> <p>愛知県知多建設事務所維持管理課長(代理)</p> <p>愛知県半田警察署交通課長(代理)</p> <p>【亀崎地区代表区長】</p> <p>【乙川地区代表区長】</p> <p>【半田地区代表区長】</p> <p>【成岩地区代表区長】</p> <p>半田商工会議所福祉共済課長</p> <p>社会福祉法人半田市社会福祉協議会事務局長</p> <p>【半田市老人クラブ連合会会長】</p> <p>特定非営利活動法人半田市観光協会事務局長</p> <p>一般市民(市民公募)</p> <p>豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授</p> <p>半田市総務部長</p> <p>半田市建設部長</p> <p>半田市市民経済部長(代理)</p> <p>半田市福祉部長</p> <p>半田市議会議員(代理)</p> <p>名古屋鉄道株式会社中部支配人(代理)</p> <p>愛知県交通対策課主幹</p>	
事務局	<p>防災監 柘植信彦</p> <p>防災交通課 主査 間瀬勝信、事務員 中村公星</p>	
傍聴者	0名	

次 第	議 事 概 要
2. あいさつ	(会長あいさつ)
3. 報告事項 (1) 地区路線バス実績集計表及び市内路線バス乗降調査結果について	<p>(事務局) 資料1に基づき説明</p> <p>(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官) 乗降調査について、調査の方法はどのようなものですか。 また、あくまでもバス停の乗降であって、外出の目的等は聞いてないのですか。</p> <p>(事務局) 20名弱の職員が交代制で、目視と乗客の方への聞き取りを行いました。 ODを把握しているもので、目的までは聞いていません。</p> <p>(社会福祉協議会事務局長) 平日は調査されていますが、土日の利用傾向などはみることはないですか。</p> <p>(事務局) 整理券の枚数は年間通じて計測しており、平均すると平日の方が利用が多いため、出来るだけ多くの方の利用傾向をつかむために、平日で実施しました。 今後は乗降の自動カウントシステムを導入予定ですので、年間を通じて乗降の実数がつかめるようになります。</p> <p>(豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授) 整理券ではODはカウントできないと思うので、出来れば休日もOD調査を実施した方がよいと思います。 目標は人口をベースとして、バスの利用者を割り出して路線ごとに按分しているということですね。 バスの便数で按分しているので、地域によって差があることを考慮できていないかもしれません。今後は地域特性を含めたうえで、目標を設定できたらいいと思います。</p> <p>(事務局) 実績からではなく、12万人の市民が一定のペースでバスに乗ることになったら、1日何人の乗車数になるかという決め方ですので、実績を積んだ時に目標を見直さなくてはいけないかもしれません。 バス停付近の人口なども含めて目標値を再設定したいと思います。</p> <p>(半田商工会議所) 年代とか性別とかはわかりますか。</p> <p>(事務局) 今回の調査では把握できていません。</p> <p>(豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授) 半田・常滑線のODで、常滑方面へは多いですが、反対方向は少ないのは、バス利用のもう片道は鉄道利用などとなっているのでしょうか。</p>

	<p>(事務局) そういった利用をされているものと思います。</p>
<p>(2) 地域間幹線事業 評価票について</p>	<p>(事務局) 資料2に基づき説明</p> <p>(愛知県交通対策課) 地域間幹線に指定される色々な要件がありまして、その要件のうち「輸送量」について、半田・常滑線C線のみ基準に届かなかったために、幹線の指定から外れてしまいます。</p> <p>(豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授) 同じバス路線でも系統が違う場合、輸送量は全体から分配されて少なくなってしまう。これは利用に合わせた系統わけだと思いますので、難しい所かと思えます。</p> <p>これもOD調査を2日間実施しているものを出していますので、たまたまかもしれません。これは来年達成すれば補助が復活しますか。</p> <p>(愛知県交通対策課) 前年に関しても輸送量の基準を満たしていませんので、今回補助対象から外れるということですが、基準を満たせば戻ることができます。</p> <p>(豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授) 目標がそれぞれ決められていますが、目標の決め方はどのようになっていますか。</p> <p>(知多乗合) 目標については、計画を作成する前年度、すなわち2年前の実績を基にして、少なくともそれは維持していくということで決めています。</p> <p>また目標値について、再編前の類似系統から設定していますので、しっかりしたものとは言い切れないかもしれません。</p>
<p>4. 協議事項 (1) 地区路線バス 亀崎・有脇線の 改善(案)について ①路線</p>	<p>(事務局) 資料3に基づき説明</p> <p>(豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授) バス停について、3ヶ所ほど了解いただけるだろうという状態のものがあることについて、この会議では「了解をいただけた場合に承認する」といった条件付きの承認となりますが、この認識でよろしいでしょうか。</p> <p>(事務局) それで結構です。</p> <p>(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官) 4月1日から運行開始ですか。</p> <p>今年度の交通会議が今回で最終とすると、書面協議が必要になってくると思います。今回不足している条件等を書面協議等で整えていただくとともに、運輸局への申請について、公安などとの調整を済ませていただいて、2月末までに申請いただくようお願いいたします。</p> <p>(事務局) 承知しました。書面協議で必要な事項等について、また相談させていただきたいと思えます。</p>

**(知多建設)**

バス停の標識について、新設する箇所で道路上に設置する場合は一定の基準を満たした場合に許可しているため、よく確認してください。

**(事務局)**

承知しました。

**(知多乗合)**

ダイヤ設定の見直しのポイントについて、1月現在の半田北部線及びJR武豊線のダイヤを見て、乗り継ぎ等の考慮をいただいていると思います。我々も4月1日を目指して、半田北部線や半田・常滑線の運行パターンを変えることを考えています。

その中でも、パターンダイヤという取り組みは、お客様にとって分かりやすいバスサービスを提供するものの1つでありますので、ダイヤ編成については、知多半田駅の0分、30分という現在の発車パターンを変えてでも、日本福祉大学において、どちらのバスからどちらのバスに乗り換えられても、利便性のいいように調整させていただきたいと考えています。

運転時間(ダイヤ)については協議事項となっていないので、事務局としっかりと調整させていただいた上で皆様にお知らせしたいと思います。

**(豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授)**

再編後は便数が増えるということですが、再編前の1便よりも、再編後の1便が遅くなる。また、最終便についても今後の方が早くなります。この朝晩の利用状況と、新しいダイヤの周知方法を教えてください。

**(事務局)**

始発便・最終便のご利用はかなり少ない状態です。亀崎バス会の方々からは、朝晩よりも昼に回してほしいと言われました。しかし、ダイヤ案の1便については、名古屋への通勤でご利用される場合、7時台の電車に乗れないのは遅いと考えましたので、事務局として設定しました。

2週間程度前に、変更後のダイヤを各バス停に掲示します。また、市報やホームページ、新しい路線図を各戸に配布して周知を進めていくとともに、バス車内でも周知を進めたいと考えています。

**(愛知県都市整備局交通対策課)**

周辺のコミュニティバスでは、渋滞等で遅れるという話を聞きますが、ごんくるの他のバスでは渋滞は発生していますか。また、その状況は見直しに反映されていますか。

**(事務局)**

南吉バスで渋滞が多く発生しており、渋滞区間の所要時間について、協議をして調整していきたいと思います。具体的には夕方の4時半から5時ごろに、知多半田駅から半田図書館へ向かう箇所で、15分~20分遅れることがあります。

青成バスについては、朝の時間帯で遅れることがありますが、半田図書館で南吉バスとの接続を取っていますので、配慮して調整していきたいと思います。

亀有バスについて、現行ルートにおいて大きな遅れが発生していることはありませんが、数分の遅れをもって日本福祉大学に到着することはあります。そうすると亀有バスと半田北部線の接続が取れない場合がございます。

	<p>(豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授) 南吉バスや青成バスの調整はいつ行いますか。 ダイヤの変更は承認事項ではないですが、この会で議論する路線ですので、出来るだけ理由と結果等の報告をあげていただきたいと思います。</p> <p>(知多バス) 遅延区間のみの変更であれば、軽微ですので4月1日に間に合うと思います。</p> <p>(事務局) 青成バスについては、もう少し調整をさせていただいた上で変更をしたいと思います。</p> <p>(知多バス) 青成バスでは、一つ一つのバス停間の所要時分(刻み)がよくない箇所があり、発車時刻まで停車しなければならないバス停があったり、必ず若干の遅れを生んでしまうバス停があったりします。これについては昨年より事務局と相談しておりますので、この点の改善はできると思います。</p> <p>(豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授) 実態に合わせたダイヤ変更というのは大変重要だと思いますので、その変更をきちんと周知することが大事だと思います。よろしく願いいたします。 今回、バス停については条件付きということで、改めて書面等で確認して承認という流れになります。異議等なければ承認ということにしたいと思います。</p> <p>&gt;全員、異議なし</p>
<p>(2) 地域公共交通確保維持改善に関する事業評価(案)について</p>	<p>(事務局) 資料4に基づいて説明</p> <p>(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官) 補足です。評価は、国の補助が入っているために確実に行わなければならないものとなっています。国全体の様式としては34ページ以降のものだけとなっています。中部運輸局では、もっと評価をしっかりとすることとしているので、24ページ以降の資料を作成してもらっています。 協議会のみなさまに議論いただいている内容全てを凝縮したものとなり、何を取り組んできたか分かりやすいものとなっており、国の補助を受けている協議会が、2年に1回第三者評価委員会という場所で、学識経験者の方などに評価をいただくこととしています。</p> <p>(半田市観光協会) 観光の情報を提供させていただきます。 9月と10月で観光キャンペーン等を展開した影響で、たくさんの方が公共交通を利用されておりました。 通常乗らない方がバスに乗るということで、積み残しが発生したという声を聞きました。新美南吉記念館から知多半田駅に戻る利用で、夕方などは遅れていたという話も聞きました。 半田運河周辺への観光客から、新美南吉記念館、赤レンガ建物、半田運河を繋ぐバスがないことから、ご要望を頂いているということをご報告させていただきます。</p>

	<p>(豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授)</p> <p>積み残しという状況は、バスの運行側からは嬉しい悲鳴ということになりますが、利用者からすると大変なことなので、あらかじめこの土日は多くなりそうということであれば、増便などの対応も考えていく必要があるかもしれません。</p> <p>また、観光きっぷに関しては増えていますので、これからも交通と観光で連携して対応していただけるといいと思います。</p> <p>民間路線との共通乗車券は、実施が難しい地域が多い一方で、半田市では導入されていて素晴らしいことと思います。このきっぷの周知度合いはどのくらいか気になっていまして、実際にはこのきっぷを使ったほうがお得だけど、現金で支払っている人がどのくらいいるのかなど、周知がどれくらいはかられているか分かりますか。</p> <p>(事務局)</p> <p>このきっぷを知っていたら、というようなご意見を頂いたことはありません。片道上限 200 円としている関係で、乗継券を利用できない利用を 3 回以上する人が少ないのではないかと考えています。</p> <p>この関係で、乗り継ぎのシステムがわかりづらいというご意見は頂いておりますので、この点については考えていきたいと思っています。</p> <p>(豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授)</p> <p>この協議事項についても異議がなければ承認ということとしたいと思います。</p> <p>&gt;全員、異議なし</p>
<p>5. その他及び 情報交換</p>	<p>(事務局)</p> <p>新しいバスを検討している地区として岩滑地区ということを申し上げておりましたが、瑞穂地区、成岩東部地区においてもバス会が立ち上がっております。知多バスの路線があった地区で、アンケート調査などをこれから実施しようとしています。これらの地区に関しては、令和 3 年度以降にバスを導入したいと考えています。</p> <p>(愛知県タクシー協会)</p> <p>半田市におかれましては、10 月より運転免許自主返納者に対する支援を始めていただきましてありがとうございます。タクシーはドアツードアということで、便利な移動手段として高齢者の移動支援に利用いただければありがたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>(豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授)</p> <p>この会は 10 時からでしたが、市役所に 10 時に公共交通で行こうとすると 9 時 7 分着と 10 時 7 分着しかないの、10 時半からという設定にしていたくと、公共交通で参加できるような会議となると思いますので、今後配慮していただけたらと思います。</p> <p>終了</p>